



こどもモニター委嘱状交付式
令和8年5月23日
総合政策部 政策推進課

八戸市のあらし

総合政策部 政策推進課
政策推進GL 番沢 啓司

八戸市の情報

人口

211,133 人

県内2位、県民の6人に1人は八戸市民
日本で約100位、国民の千人に1.7人は八戸市民

面積

約305 km²

琵琶湖の半分、名古屋市と同規模、ディズニーリゾート150個分

人口密度

約700人/1km²

実は県内で一番人口密度が高い

名産品

イカ、八戸前沖サバ、ブルーベリー、いちご、せんべい汁、いちご煮、南郷そば など



八戸市の歩み

令和8年は、市制施行97周年！

昭和4年 市制施行
(八戸町、小中野町、湊町、鮫村合併)

昭和39年 新産業都市に指定

昭和61年 東北縦貫自動車道八戸線開通

平成14年 東北新幹線八戸駅開業

平成23年 東日本大震災

令和11年
市制施行100周年！



初代「はやて」
⇒東京まで最短2時間56分



現行「はやぶさ」
⇒東京まで最短2時間41分



市域のうつりかわり

☆市制を施行

昭和4年5月



昭和15年1月



昭和17年4月



昭和29年12月



昭和30年4月



昭和30年10月



昭和33年9月



平成17年3月



現在

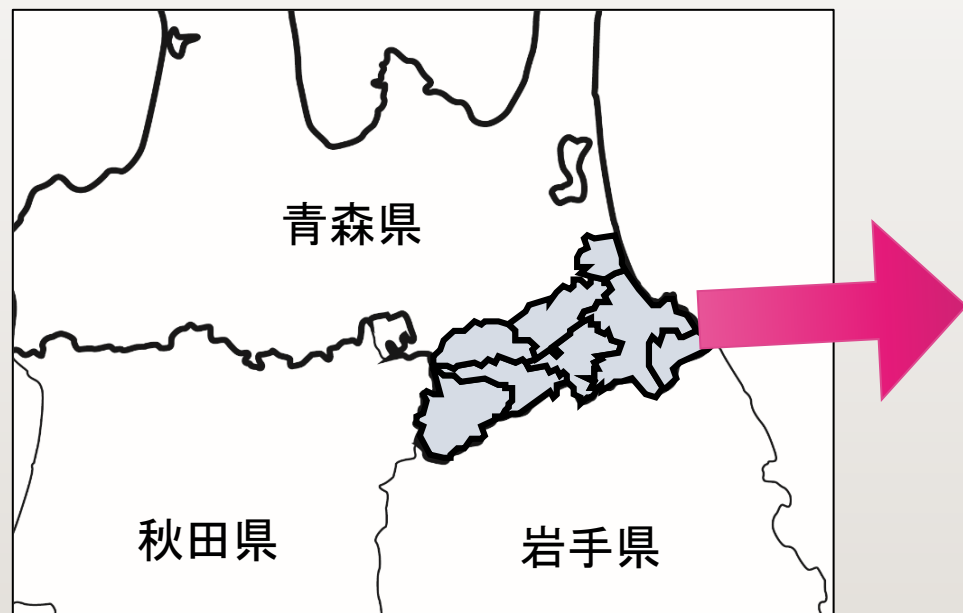


参考情報：連携中枢都市圏

連携中枢都市圏の名称

八戸圏域連携中枢都市圏

愛称：『八戸都市圏スクラム8』



構成市町村

八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村、おいらせ町



八戸市のシンボル ～市章～

市章（市のマーク）



（参考）向鶴の紋



- 八戸市の市章は、昭和6年8月27日に一般公募で制定
- 「八戸」の2文字と旧南部藩の「向鶴の紋」が図案化

八戸市のシンボル ～花・木・鳥・さかな～

市民の花：菊



市民の木：イチイ

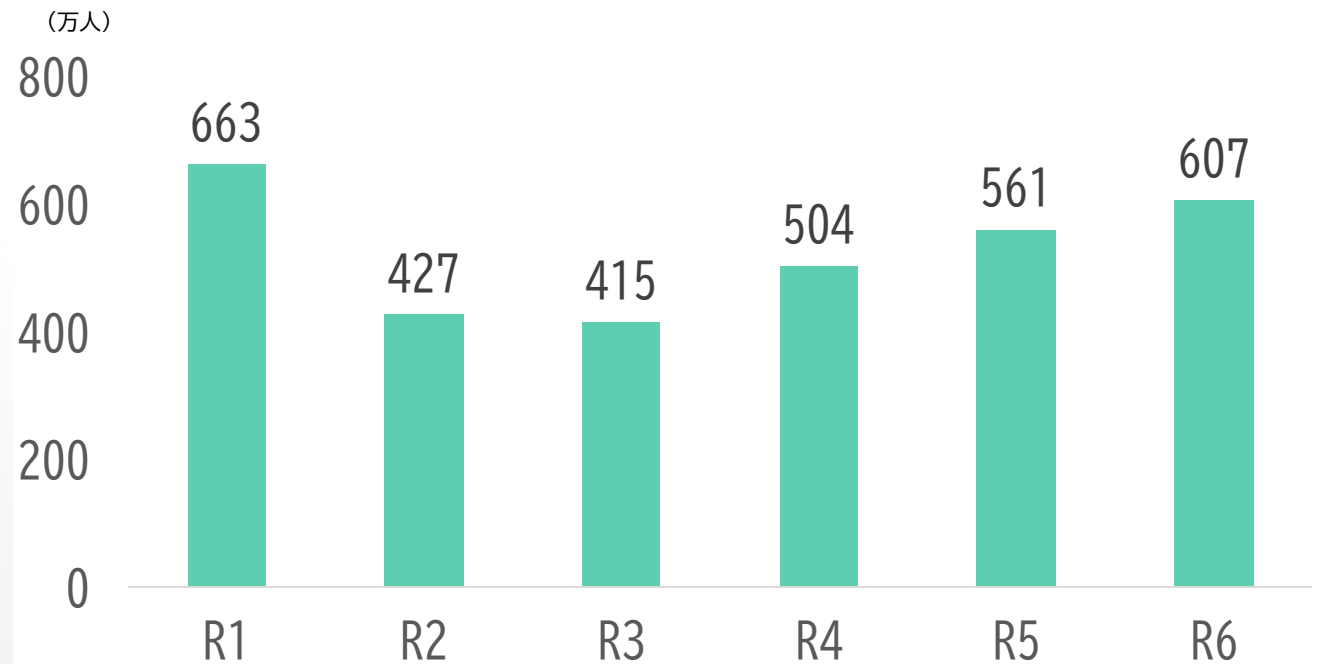


市民の鳥：ウミネコ

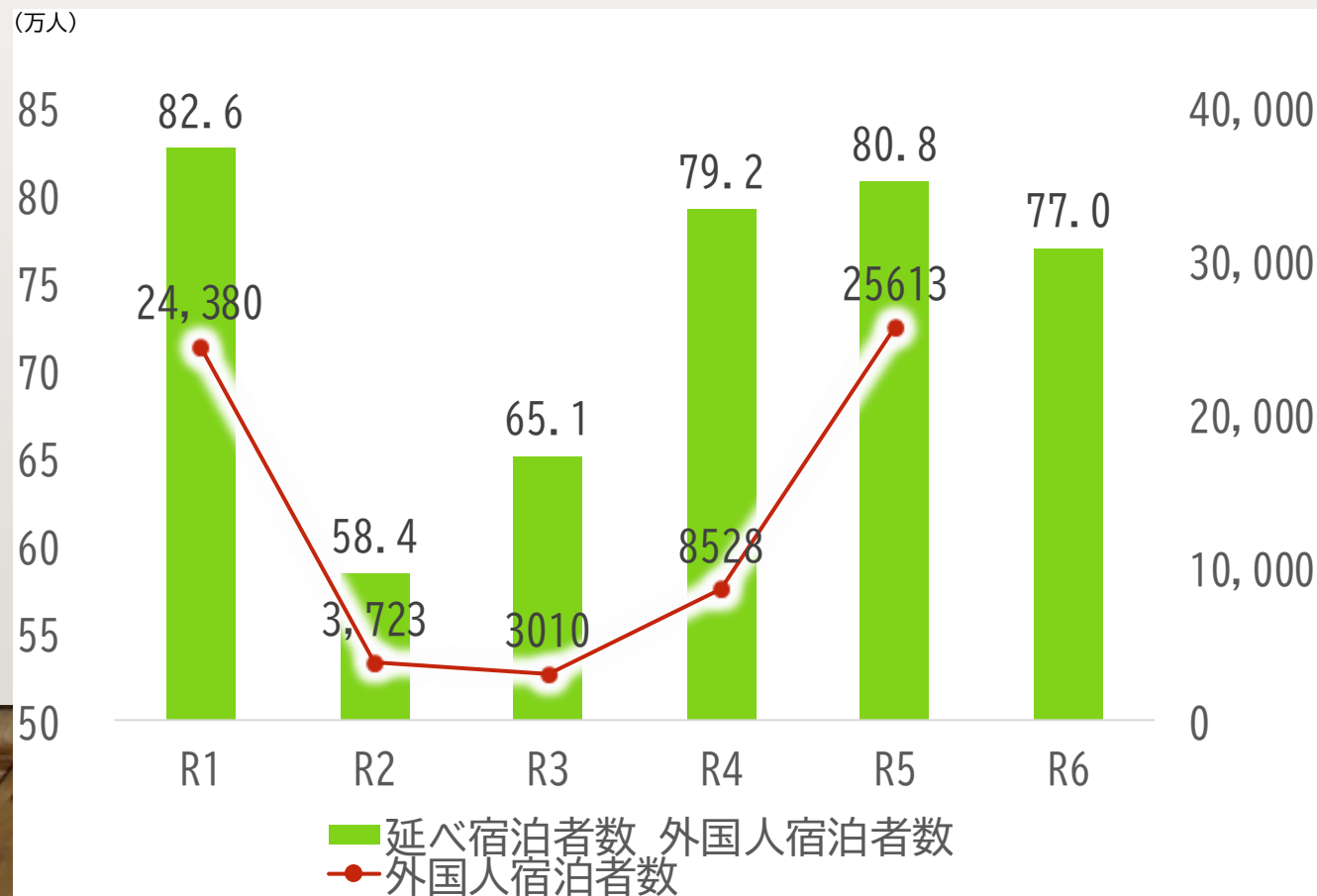
市民のさかな：イカ

八戸市の観光業

【観光入込客数の推移】



【市内延べ宿泊者数の推移】



ユネスコ無形文化遺産
「八戸三社大祭」 7/31~8/4



国の重要無形民俗文化財
「八戸えんぶり」 2/17~20



観光「自然」

三陸復興国立公園 種差海岸

東北太平洋岸自然歩道
「みちのく潮風トレイル」



平成25年5月に三陸復興国立公園に指定
▼
令和5年5月 国立公園指定から10周年



トレイルのヘッドエンド
ポイントとなる「蕪島」



八戸市蕪島から福島県相馬市
まで1,000kmを超える長距離
自然歩道

みちのく潮風トレイルはR8年6月で7周年

観光「食」

八戸せんべい汁

八戸を代表する郷土料理



八戸ブイヤベース



八戸港で水揚げされた海の恵みがたっぷり！
八戸の冬の新たな風物詩。

お酒

▶日本酒（八戸酒造(株)、八戸酒類(株)）



▶八戸ワイン



▶八戸発のクラフトビール



八戸前沖さば

日本一脂ののったブランドさば



イカ

八戸港はイカの水揚げ日本一



いちご煮

ウニとアワビの贅沢なお吸い物



食用菊 阿房宮

八戸特産の食用菊



糠塚きゅうり

糠塚地区の伝統野菜



八戸前沖ふぐ

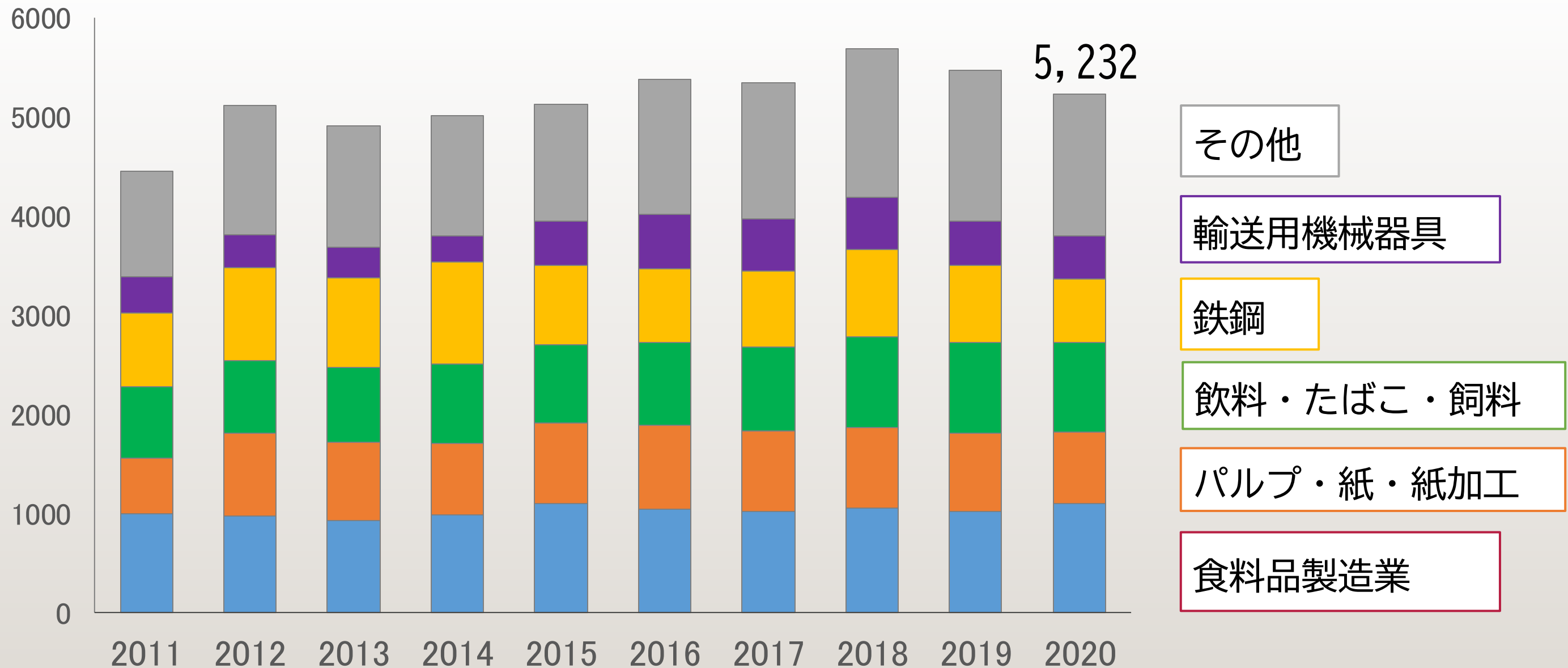
八戸沖はトラフグの漁場



産業（北東北最大級の工業都市）

■多様な産業が集積。経済動向に左右されにくい安定した産業構造

製造品出荷額等の推移と内訳



八戸港の発展

昭和20年



令和3年



蕪島

中心市街地（歴史）

八戸の城下町は、現在の八戸市中心市街地にあたる。
寛永7年（1630）頃に八戸の街づくりは始まり、八戸藩が誕生した寛文4年（1664）にはほぼ完成していた。
現在の中心市街地に当時の建造物はほとんど残っていないが、江戸時代の町の形や名前は変わらず残されている。

八戸城跡地

（明治時代に取り壊された）



八戸の城下町の豆知識

その1

町名は「日付」が入っているが、藩政時代の「市」が開かれた日にちに由来。

その2

本通りを挟んで表通りと裏通りの数字を足すと、一の位が縁起の良い「九」となるように配置。

その3

表通りには御用商人などの大店、裏通りには職人が集められた。職種によって住み分けられる計画の名残で、今でも大工町や肴町、馬喰町など地名にその特徴が残っている。

中心市街地に立地する公共施設



八戸市におけるスポーツ

氷都八戸として、各種スケート競技を推進



さらに、プロスポーツチーム4団体も活動拠点を置くスポーツ都市



東北フリーブレイズ
(アジアリーグアイスホッケー)



ヴァンラーレ八戸FC
(J2リーグ)



青森ワッツ
(バスケットボールB2リーグ)



八戸ダイム
(3人制プロバスケットチーム)

八戸市における文化

日本最大級の朝市 「館鼻岸壁朝市」

毎週日曜日の早朝にだけ出現する、
何でもありのカオスな巨大朝市！



昭和薫る「横丁文化」



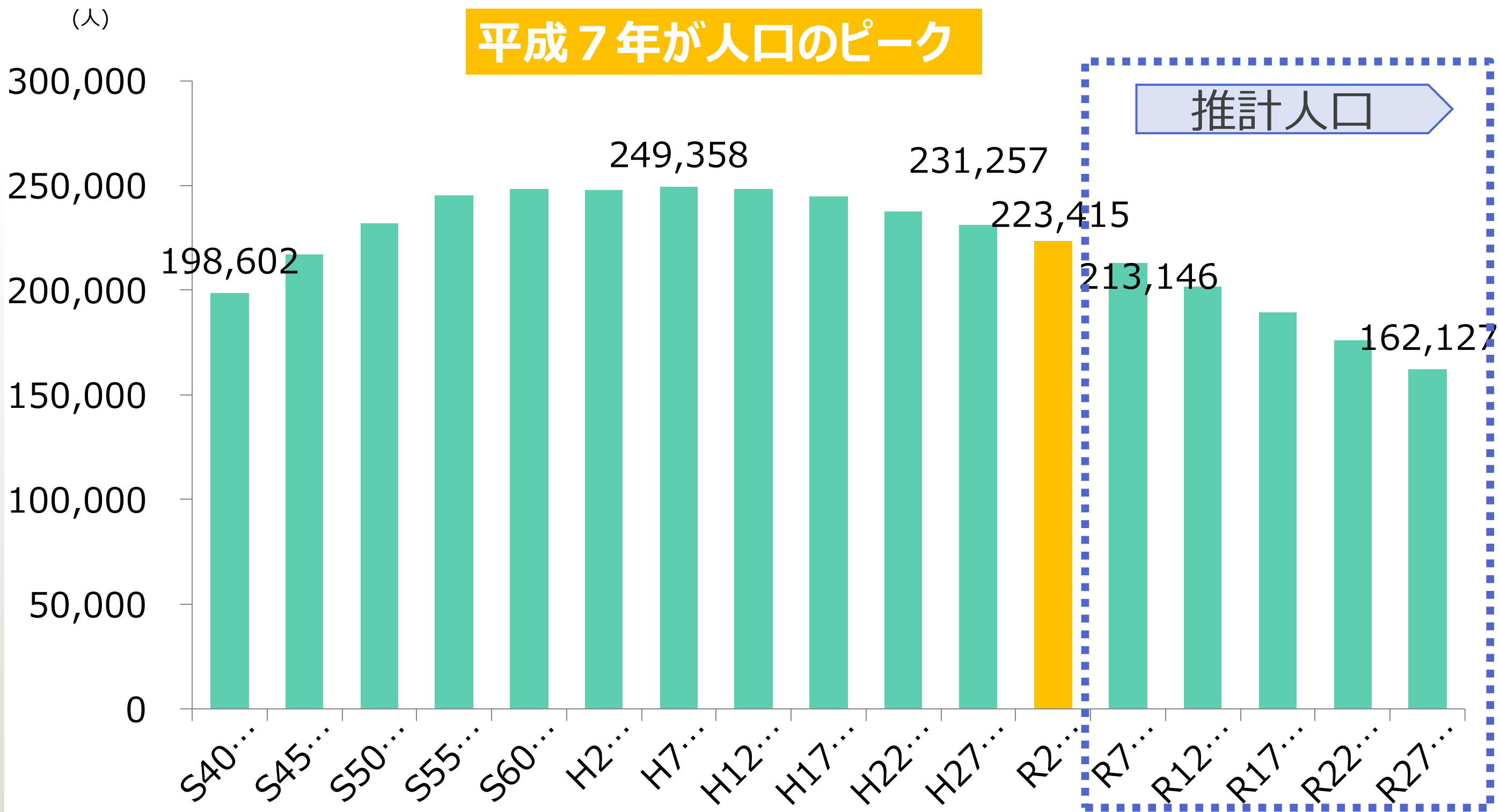
中心街に張り巡らされた8つの横丁。
美酒と人情に酔いしれ、はしご酒！

史跡「是川石器時代遺跡」 世界遺産登録決定！

史跡是川石器時代遺跡を含む
「北海道・北東北の縄文遺跡群」
が令和3年に世界遺産登録！

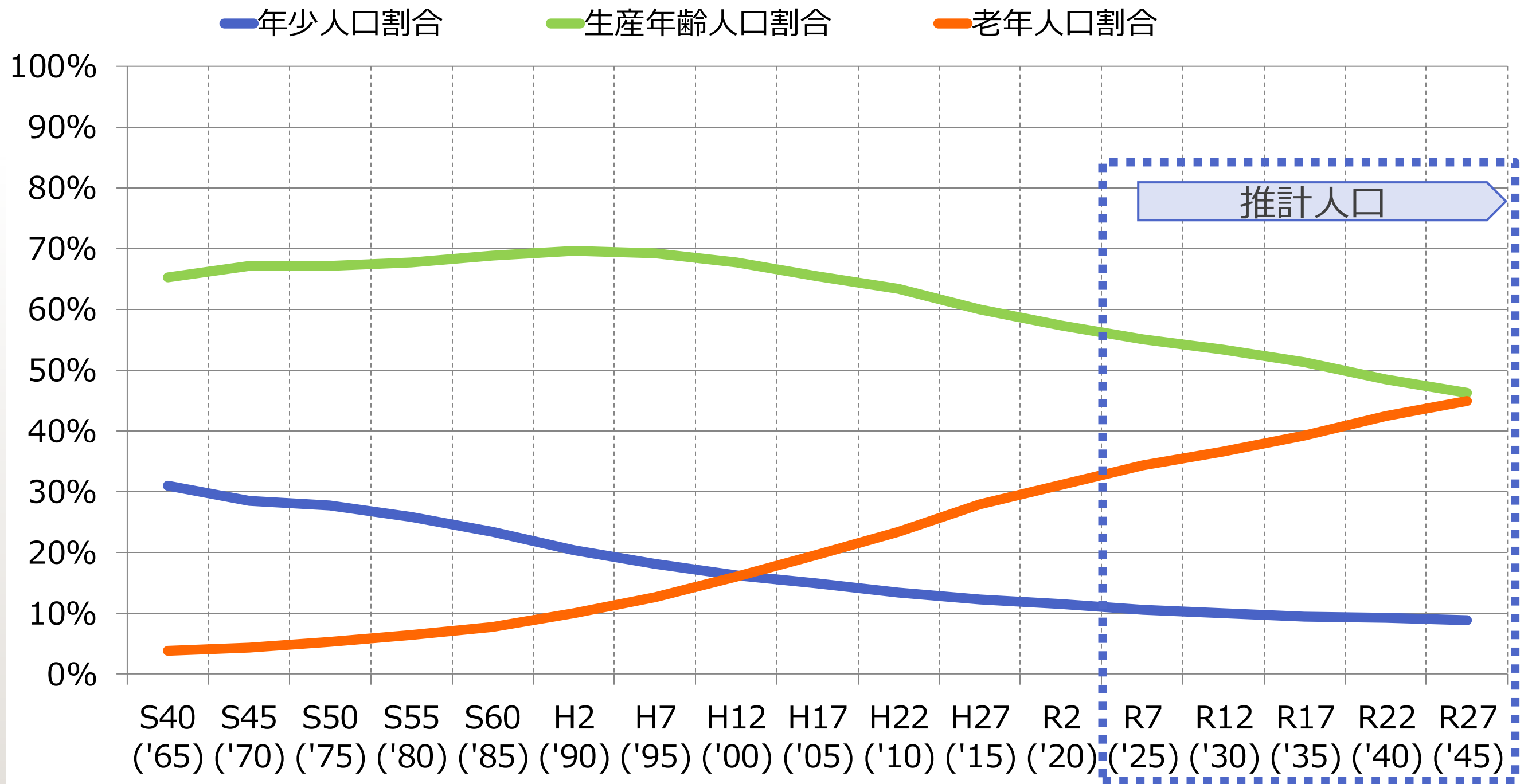


人口の推移と将来推計



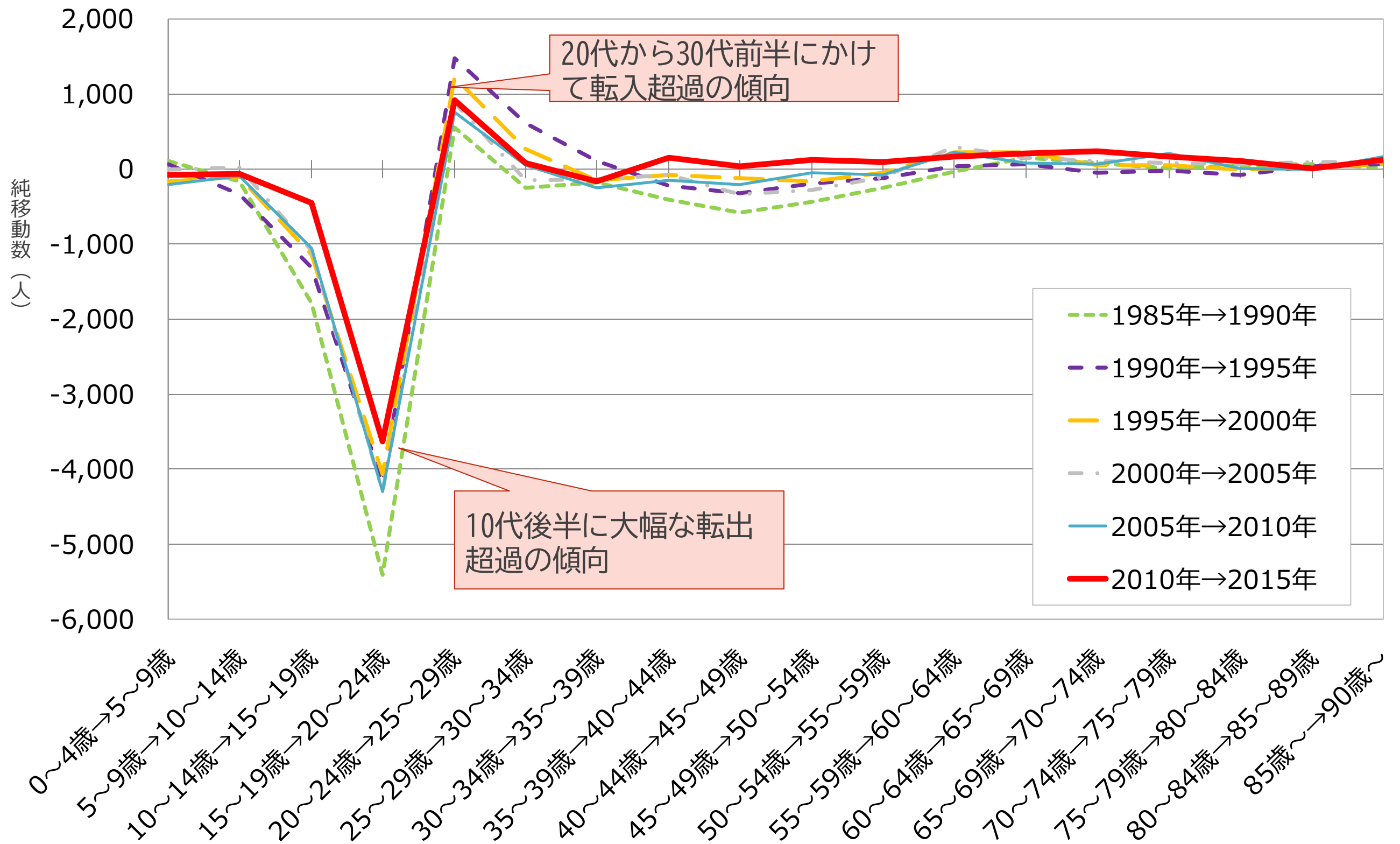
資料：S40 (1965) ~ R2 (2020) 年：国勢調査 (総務省) ※H12 (2000) 年以前は旧南郷村の人口を含む
R7 (2025) 年以降：地域別将来推計人口 (国立社会保障・人口問題研究所)

年齢3区分別の比率の推移と将来推計



資料：S40（1965）～R2（2020）年：国勢調査（総務省）※H12（2000）年以前は旧南郷村の人口を含む
 R7（2025）年以降：地域別将来推計人口（国立社会保障・人口問題研究所）

人口の推移（年齢階級別の社会動態）



資料：国勢調査（総務省）、都道府県別生命表（厚生労働省）

第7次八戸市総合計画(将来都市像)

ひと・産業・文化が輝く 北の創造都市

市が実現を目指す将来都市像は、「市民」一人一人の知恵や熱意を原動力として、北東北の経済をけん引する当市の「産業」に新たな躍動の風を吹き込み、歴史と伝統が育む「文化」などの地域資源をさらにみがき上げることによって、「北」東北を代表する都市にふさわしい魅力や活力を「創造」し、この地域で活動する全ての市民が生き生きと「輝き」、豊かに暮らしている未来社会である。

ひとが輝く



産業が輝く



文化が輝く



「若者活躍応援課」の新設

取組例

01 若者に関する事業の集約

- ・ 若者の地元定着に関すること
- ・ 若者の自己実現に関すること
- ・ 若者の相談に関すること

02 若者を対象とした事業の展開

- ・ 八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議
- ・ マチナカまるっと1日体験事業
- ・ 八戸市超帰省応援事業 等



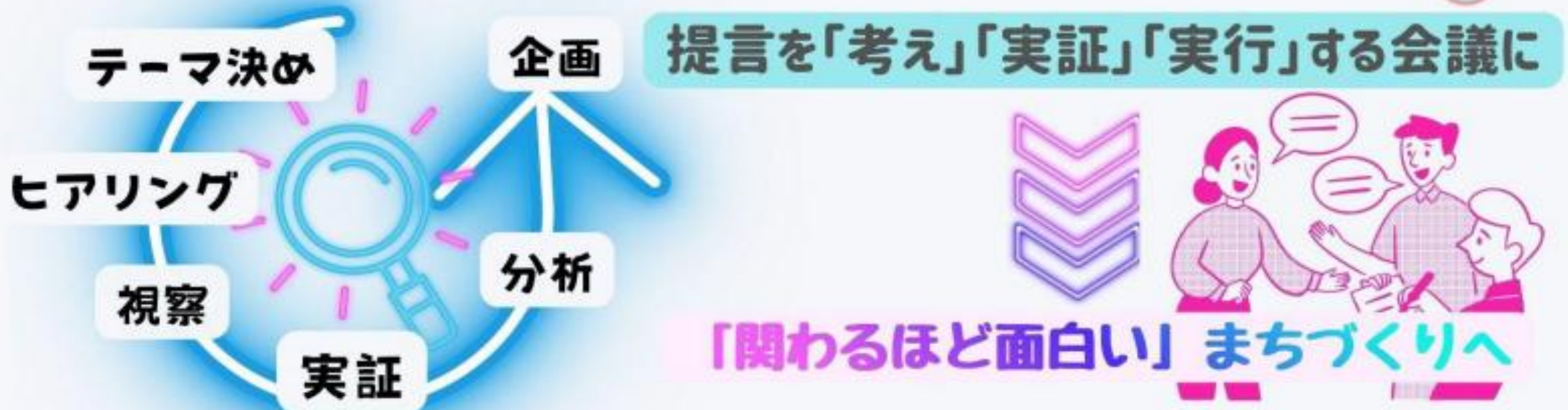
若者の事業がまとまり、効率化につながるとともに、
より効果のある事業を行う！！

八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議運営事業

事業概要	若者や女性にとって魅力あるまちの実現に向けて、市長に対して政策提言を行う「八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議」を運営する。
------	--

八戸市まちの魅力創生ネットワーク会議

まちの魅力ネットワーク会議が変わります！



令和8年度からは、若者や女性にとって魅力あるまちを実現することは、まちに関わる人を増やし、地域の活力を高めていく上で重要であることから、これまでの「提言を提出する会議体」から**自らが実証**を行い、地域で働くプレイヤー集団へと発展。

サンフェスHACHINOHE2026開催支援事業

事業概要 市民が当市の産業を知り、魅力的な企業を認知し、地元を誇りを持ってもらうイベントを開催し、農水産品などの販売機会も設けることで、地場産品・ブランドの認知や地産地消の拡大を図る

開催場所



中心市街地
(市庁前広場、YSアリーナなど)

開催日

令和8年9月27日(日)
10:00~16:00

実施内容

- 企業・学校PR & 体験ゾーン
「地域のおしごと・学校魅力発見フェスタ」
- 畜産品販売「畜産フードフェスタ」

※この他、農産品や水産品の販売コーナー等を設置予定

テック系起業家育成事業

事
概

業
要

IT等のテクノロジーを活用したテック系起業家の輩出や未来の起業家育成のため、IT等を活用した課題解決及び起業に興味のある学生等を対象とした伴走支援型の起業家育成プログラムを実施するもの。

対象者

- ▶ IT等のテクノロジーを活用した課題解決及び起業に興味のある学生等
(主に工学部を有する八戸工業高等専門学校や八戸工業大学の学生を想定)

育成プログラムの内容

- ▶ 起業の基礎知識に関する勉強会の開催
- ▶ 課題解決及びチームビルディング
- ▶ アイデアのブラッシュアップ、プロダクトの試作・検証
(参加学生には、1チーム40万円を上限とした事業化支援金を提供)
- ▶ 成果発表会の開催



地域経済を牽引するインパクトのある起業家の輩出へ！

「ハマる、ハチノへ。」 観光振興プラン「アクションプラン」

はちのへ食文化博覧会開催事業

八戸市内の海鮮文化を「食べて・学んで・巡る」観光コンテンツとして、市民及び観光客が市内に設定したエリアを回遊する食文化イベント

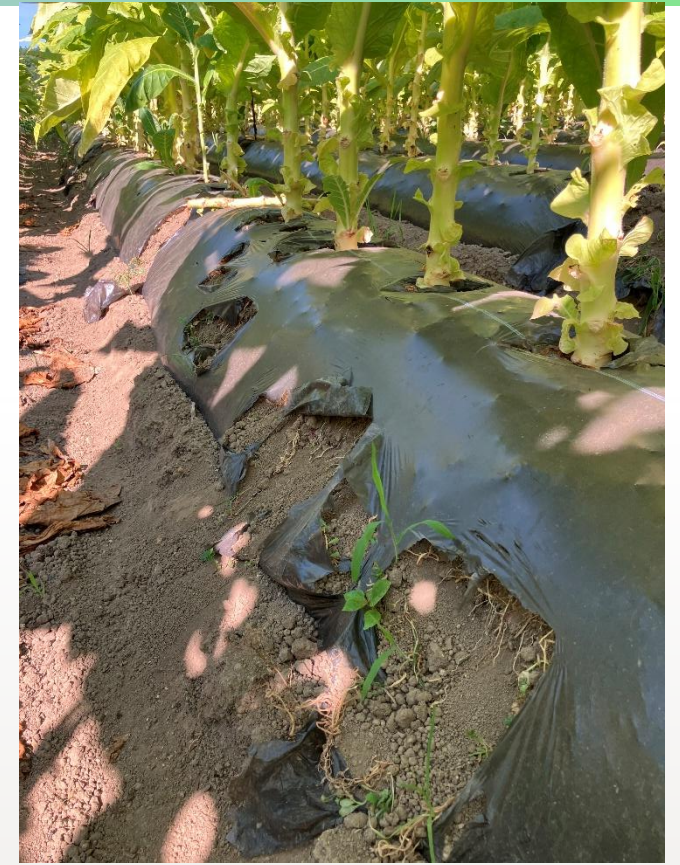
八戸流サステナブルツーリズムの実施

観光客が種差海岸を楽しく観光できるプログラムを実施するとともに、この観光プロセスにサステナブルツーリズムの要素を取り入れ、自然の価値を再発見する

みちのく潮風トレイルと八戸十和田トレイルを連動させた PR事業・イベントの実施

八戸市を「みちのく潮風トレイル」および「八戸十和田トレイル」の起点・交流地点として位置づけ、自然・文化・ストーリーの発信を強化することで、トレイルを核とした地域ブランディングと観光誘客を図る

鳥獣被害防止総合対策事業



八戸市鳥獣被害防止電気柵設置事業補助金

鳥獣による
農作物被害防止を目的とした
電気柵の購入費用を

**最大
10万円**
補助します

補助対象者
・生業として市内の農地で農業生産を行う方で、市内に事務所若しくは事業所を有する法人又は市内に住所を有する個人
・直近1年分の法人税確定申告若しくは令和7年分の確定申告又は令和8年度市民税・県民税申告が済んでいる方

申請期間
令和8年4月6日～令和9年1月29日

補助上限額 10万円
補助金額 資材購入に要する経費の $\frac{1}{2}$

お問い合わせ・お申込み先
電話 0178-43-9052
メール norin@city.hachinohe.aomori.jp
郵送 〒031-8686八戸市畜産林政課

① 1世帯又は1法人につき、1年度に1回まで
② 申請額が予算額に達した時点で受付を終了します（先着順）

第2子以降の保育料無償化事業

保育料無償化の拡充

区分	従来の制度	新制度
第1子 (0～2歳)	所得に応じた負担	所得に応じた負担
第2子 (0～2歳)	所得に応じた負担	無償化
第3子以降 (0～2歳)	所得に応じた負担	無償化
3～5歳児	無償化	無償化

0歳～2歳の
第2子以降の保育料

無償化



今年度のトピック

青の煌めきあおもり国スポ・障スポ大会

日時

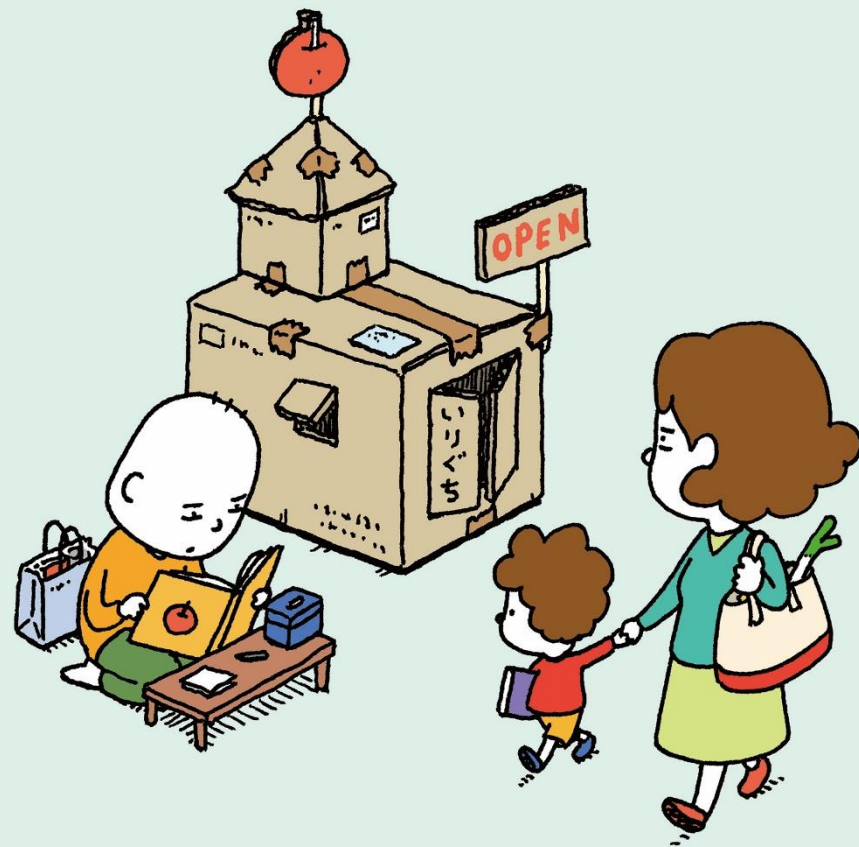
【 本大会 】 2026年10月10日～10月20日

【 障スポ 】 2026年10月23日～10月26日



八戸市美術館における注目の展覧会

ヨシタケシンスケ展かもしれない



展覧会名:ヨシタケシンスケ展かもしれない

会期:2026年11月21日(土)~2027年1月11日(月・祝)

「ヨシタケシンスケ展かもしれない」のイメージ ©Shinsuke Yoshitake

金曜ロードショーとジブリ展



青森展開催決定

2027.3.9^火-6.16^水 八戸市美術館

展覧会名:金曜ロードショーとジブリ展

会期:2027年3月9日(火)~6月16日(水)

八戸未来フォトコンテスト2026

募集期間

2026年4月21日(火)～7月20日(月・祝)

2025最優秀賞

タイトル：『未来への架け橋』



2025優秀賞

タイトル：『星降る展望台』



2025優秀賞

タイトル：『春爛漫』



御清聴ありがとうございました

Thanks♡

